



檜山地本通信

第5号 2011年2月21日 発行

発行 自治労北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 fax0139-54-2010

春闘はじまる

2月14日(月)から21日(月)まで、春闘統一要求書の提出ゾーンとされております。今回は、統一要求書と同時に、「臨時・非常勤職員の処遇改善を求める要請書」も提出することになっていきます。

春闘オルグで

消防組織化も

2月14日からはリストバンド着用の取り組みも始まっています(3月末まで)。また、16日から18日まで、道本部・地本合同の春闘オルグを管内で実施しました。

オルグには、道本部から大出企画総務部長、自治労共済道支部から引地損害調査部次長、消防職員の組織化の観点から、江差消防協の田中会長と地本書記長佐野が同行しました。

ヤマ場は3月11日

春闘の山場は3月11日と設定されておりますので、山場にむけた取り組みとして、確定闘争からの継続課題の解決、時間外集会や教宣紙の発行などの戦術配置を行い、闘争態勢を確立しましょう。

《春闘スケジュール》

- 〔2月14日～21日〕
・要求書提出
- 〔2月14日～3月末〕
・組合旗掲揚、リストバンド着用
- 〔2月28日〕
・要求書回答指定日
- 〔3月1日～10日〕
・重点交渉期間
- 〔3月8日～11日〕
・腕章着用
- 〔3月11日〕
・全国统一行動日
(29分時間内くい込み集会、超勤拒否、出張拒否)



道本部自治体 財政・政策セミナー

2月10日(木)午後1時から、札幌市・第二水産ビル8階大会議室で行われました。檜山地本単組・総支部から3人が参加しました。

はじめに、地方自治総合研究所研究員の高木健二さんから、「2011年度地方財政対策」と題して、講演が行われました。政府が決定した「中間財政フレーム」により2013年度まで歳出水準は維持されるとされ、このことにより地方交付税も水準維持される事が確定されたと話しました。ちなみに、2011年度予算の地方交

付税総額は、17兆3734億円であり、前年度比4799億円の増となっています。また、一括交付金については、対象事業が示されたものの、その9割が継続事業であり、新規事業は1割程度にすぎないということの説明でありました。さらに、交付金事業ということで、会計検査院の検査対象になると話しました。

次に、神奈川県地方自治研究センター事務局長勝島行正さんから、「公契約条例とは何か―その背景と意義について考える」と題し、講演が行われました。実際に条例化された千葉県野田市、神奈川県川崎市の具体例について話し、「公正な労働、生活賃金を自治体がめざしていくべき」と提言しました。

渡島・檜山合同青婦部春闘討論集会開く

2月19日(土)、午後1時から函館市ホテル万惣で青婦春闘討論集会が開かれ、84人(うち、檜山地本青婦部各単組・総支部参加者26人)が参加しました。

はじめに、「私たちの賃金・職場・生活と政治闘争」と題して、森町職員労働組合執行委員長の宮崎渉さんが講演しました。続いて行われた、新入組合学校では、知内町職員組合の福原賢孝道議は、「組合とは」と題して講演しました。午後3時から5時までの分散会では、各グループに分

かれて自己紹介や春闘などについて討論を行いました。

午後5時に、道議会議員の福原賢孝さんが訪れ、檜山地本鈴木青婦部長から「檄布」が渡されました。



「檄布」を受け取る福原道議

福原賢孝道議は、「若年層職員がおかれている厳しい給与・労働条件を改善できるよう努める」とあいさつしました。

檜山地方本部 当面のスケジュール

(2月21日現在)

- 2月24日(木) 町村女性交流集会(東京都)
町村病院対策集会(東京都)
- 25日(金) 第32回全国町村職総決起集会(東京都)
- 26日(土) 渡島・檜山地本合同衛生医療評議会(森町)
道南医療第17回定期総会・旗開き(森町)



あいさつする福原道議